

入学試験問題

鉛筆デッサン(3時間)

【問題】

与えられたモチーフ(透明ビニールホースとポリエチレン手袋)を手であやつり、そこで起こるモチーフの特性と手を描きなさい。

[条件]

1. 透明ビニールホースとポリエチレン手袋は必ず描くこと。
2. ポリエチレン手袋は手にはめてもはめなくてもよい。
3. 透明ビニールホースは、まるめる、おる、つぶすなど手で加工してもよい。
4. それぞれのモチーフは、切ったり切り離してはならない。



5. 答案用紙は縦横自由。
6. 目隠しカードの上に、画面の「上」を示す矢印「↑」を必ず書くこと。

[配付物]

1. 試験問題
2. 答案用紙(B3画用紙)×1枚
3. 透明ビニールホース×1本
4. ポリエチレン手袋×2枚
5. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

《禁止事項》

指定された氏名欄以外への本人の氏名、受験番号等の記載を禁じます。

出題意図と評価のポイント

モチーフを手で操作して、その行為から生まれた面白い現象を見つけ出して観察し、描写することを第一の目的としています。また自分が見つけた面白さを活かす構図なのかも重要です。基本的に手のデッサンができていることに加え、モチーフのポリエチレン手袋とビニールホースはどちらも透明な素材と質感の違いに注目すると、様々な発見があります。たとえば、ビニールホースは太さと長さ、さらに柔らかさが日常的なものではないため持ち方だけでも様々な状態になります。円筒と潰した場合の変形や、青みを帯びた色の変化に注目した作品、手に密着しない工夫として内側にエンボス処理が施してあるポリエチレン手袋の表情をよく観察した作品、重なりによる不透明と透明のコントラストなどをテーマにした作品など、3時間の時間内によくぞここまでと思える作品に評価が集まりました。最後に、入試ですから問題文や条件を良く読み理解する事を心がけてください。

デザイン

入学試験問題

デザイン(3時間)

【問題】

与えられたモチーフ(切り抜き文字セット)を用いて、あなたが「鳥」から受けるイメージ(形、動き、生態、性質など)を自由に色彩構成しなさい。

[条件]

1. 構成する材料は、与えられた文字「B」「I」「R」「D」と、文字が抜かれた後のシートのみを使用すること。
2. 素材である各文字は、全体や部分の使用、また拡大縮小などの変形も可とする。また複数使用も可とする。

3. 描画画面は与えられた紙面全体とする。ただし余白は白地とみなすので全面を塗りつぶさなくてもよい。
4. 答案用紙は横長で使用すること。
5. 配付物3.の包装材と台紙はモチーフではない。

[配付物]

1. 試験問題
2. 答案用紙(B3ケント紙)×1枚
3. 切り抜き文字セット×1セット
4. 下書き用紙(B4上質紙)×3枚

《禁止事項》

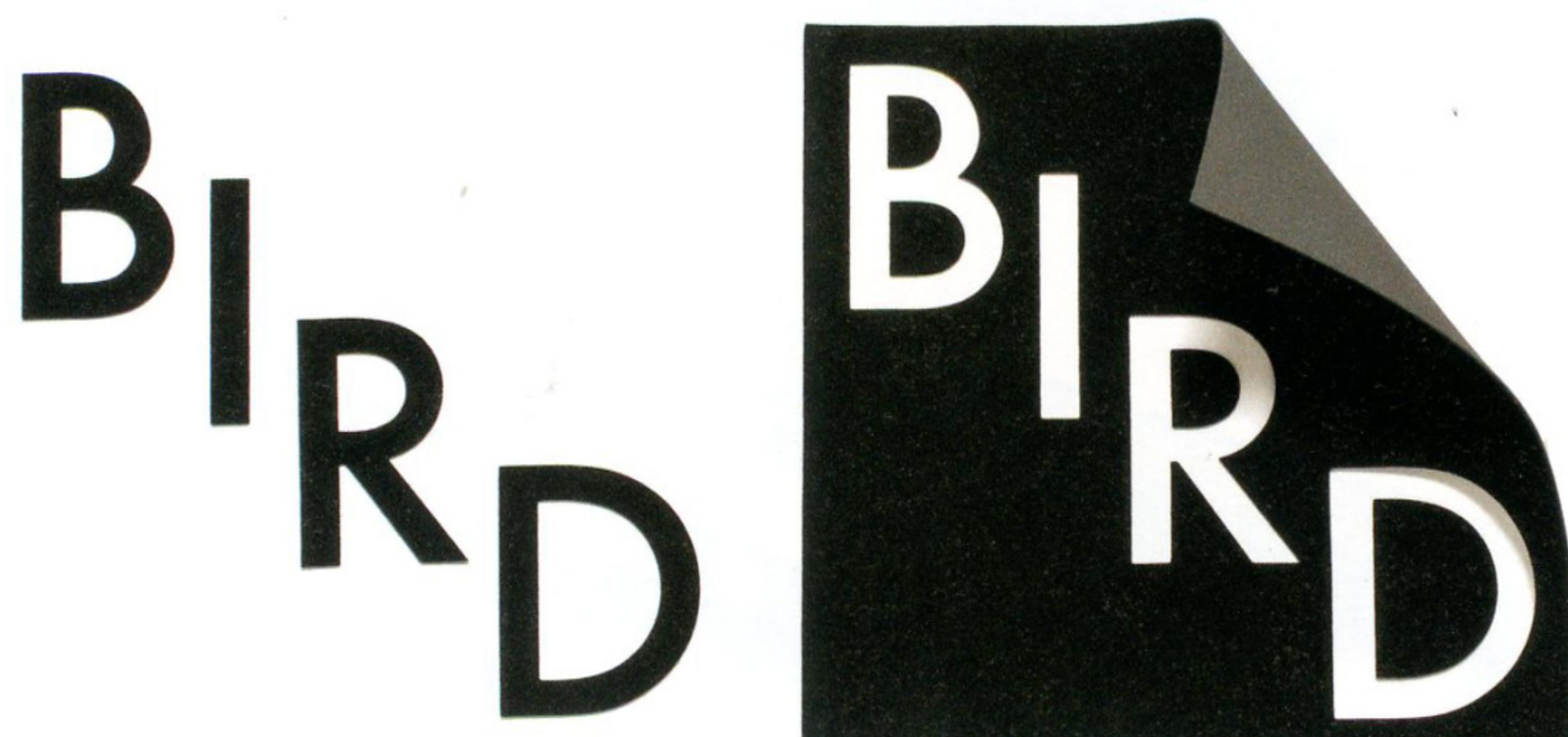
指定された氏名欄以外への本人の氏名、受験番号等の記載を禁じます。

出題意図と評価のポイント

この問題は与えられたモチーフ(切り抜き文字セット)を用いて得られる形から「鳥」のイメージを描き出すことを求めています。問題文の中に明記しているように「イメージ」に関する解釈は「形態、生態、性質など」とかなり自由である事がわかると思います。例えば鋤いくちばしや目、羽根など誰もが見た事のあるかたちの記憶からでも良いし、空を飛び回ったり、枝に留ったりする様子や動作の状態とも解釈できます。ここではそれらを単に想像し描写するだけではなく、与えられたアルファベットに触りながらイメージを発見することを求めていました。直接的な対象描写ではなく、全く異なる形(文字)から別のもの(鳥)のイメージを「見立て、表現する」というデザインの基本的な力を見る事が目的です。

以上の出題意図に基づいて、作者がどのように鳥のイメージを構成したか、それが見るものに伝わったか、が採点のポイントになりました。結果的に提出された作品は大変バラエティに富んだものとなりました。

採点においてはその多様性を尊重しつつ、着眼点、観察のユニークさ、空間(画面)構成のダイナミズム、リアリティ(表現力)、色彩(美しさや適切な使用)などを基準に総合的な視点から行いました。





視覚伝達デザイン学科



視覚伝達デザイン学科

教員コメント

モチーフの扱い方と手のポーズによる垂直と水平を軸とした構成は見事。モチーフの透明感を活かした重層する空間感も効果的である。

教員コメント

透明なのに裏側に細かなエンボスのある手袋に注目している。チューブの柔らかさと手の力の具合まで丹念に描写しているのが心地よい。



視覚伝達デザイン学科



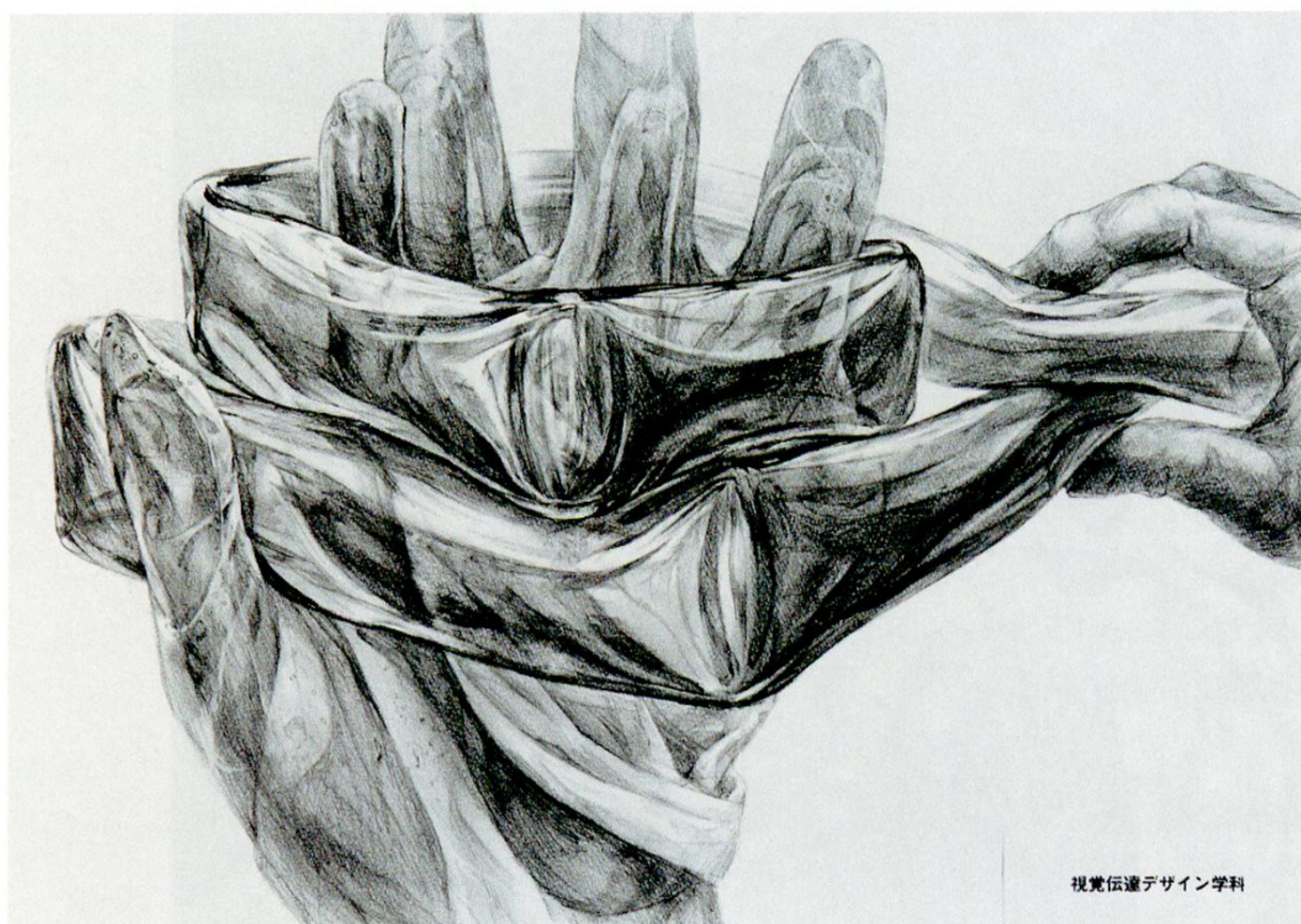
視覚伝達デザイン学科

教員コメント

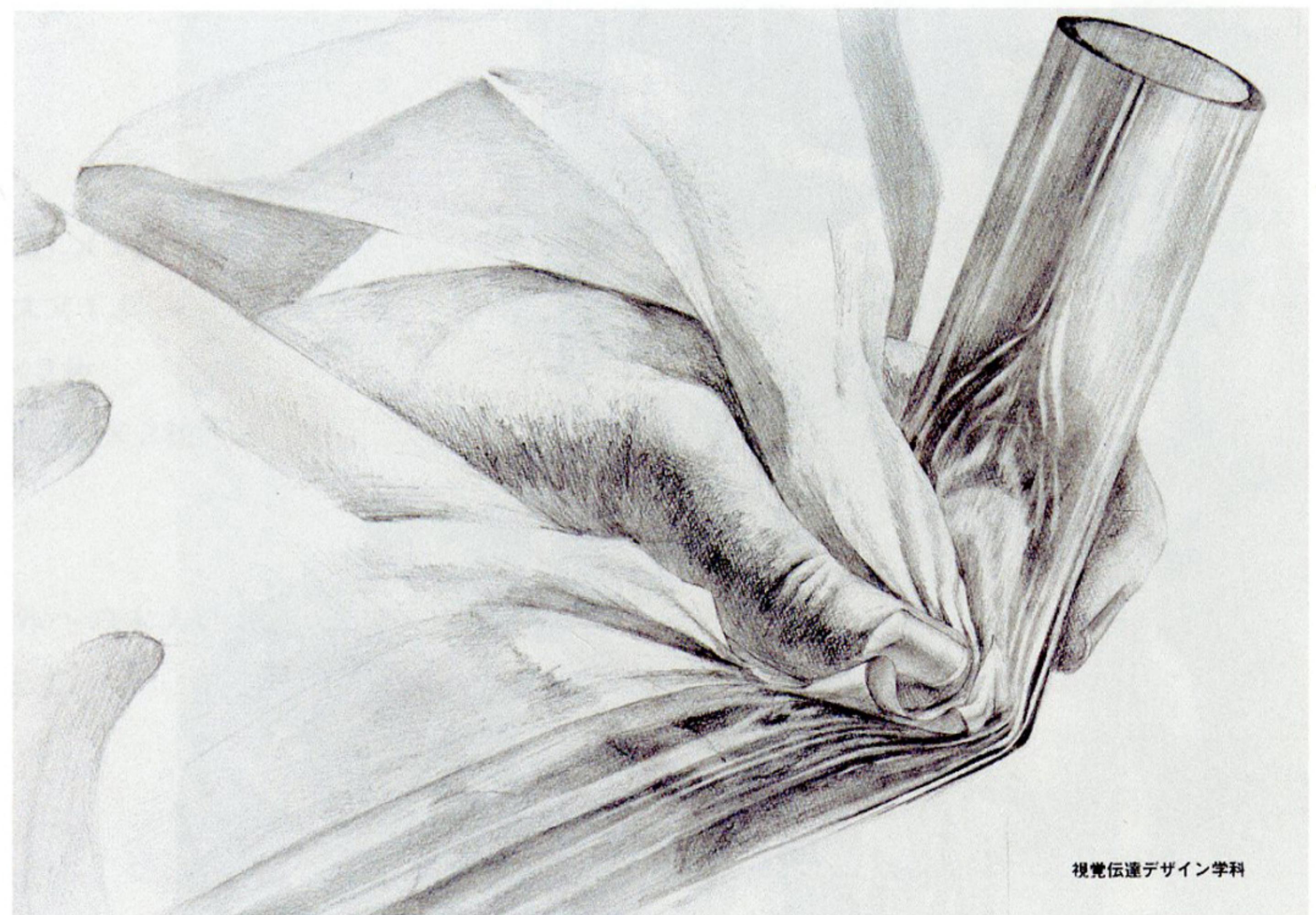
逆光の効果を生かし透明感と映り込みの変化を巧妙に描いた。親指と人差し指で支えられているチューブの硬さが生む張力にも注目。

教員コメント

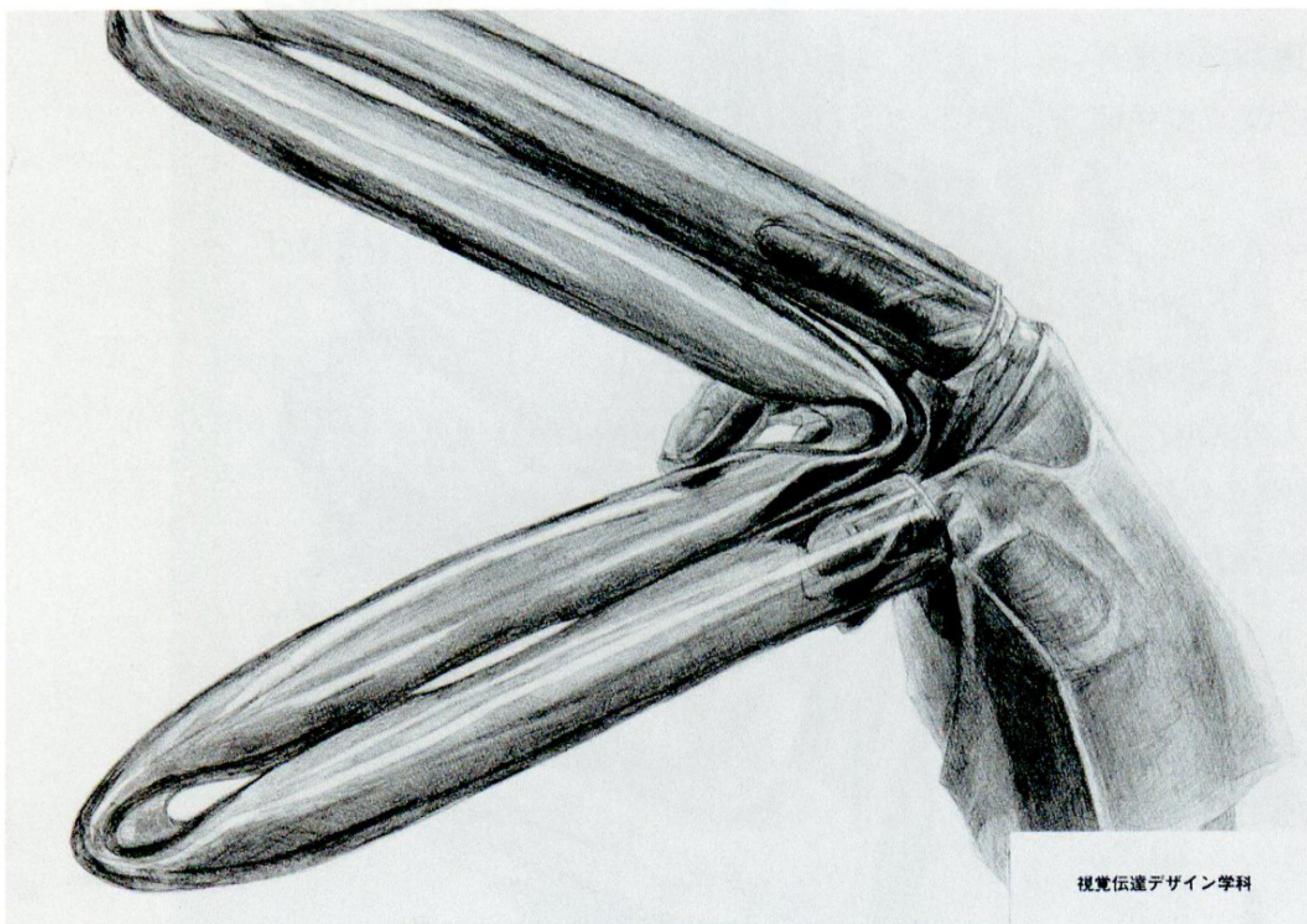
透明手袋を手にはめて、チューブを握るといった至って平凡なポーズだが、画面いっぱいに描き切っている優れた描写力は秀逸である。

**教員コメント**

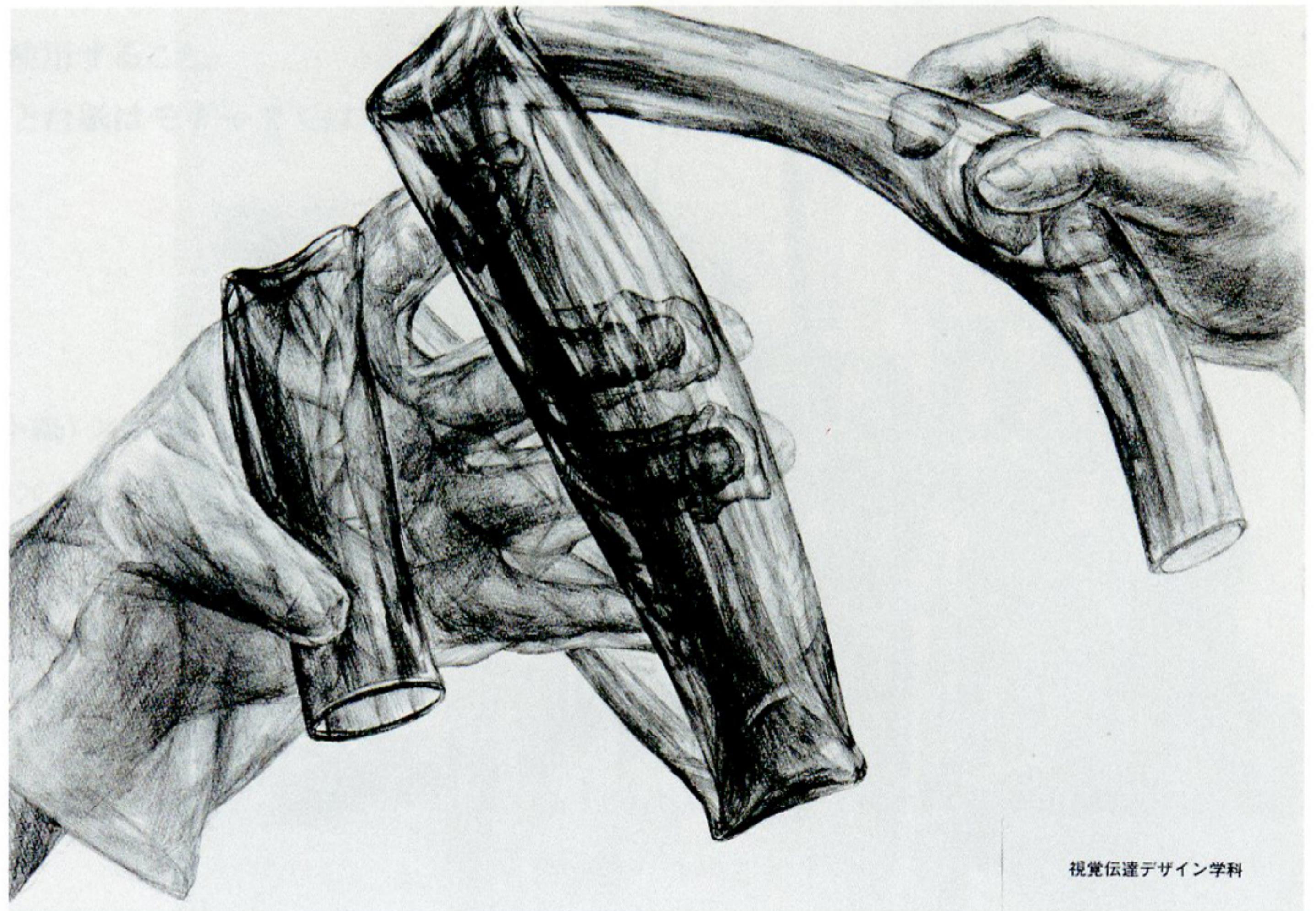
両手を描いたことで手の形は狂っている。しかし巻き込まれたチューブの変化を見せ場とした構図で、魅力的な作品となっている。

**教員コメント**

焦点を絞った丁寧な制作と鉛筆の調子の階調は作者の繊細な感性が感じられ、弱さよりも美しさの魅力が勝った作品となっている。

**教員コメント**

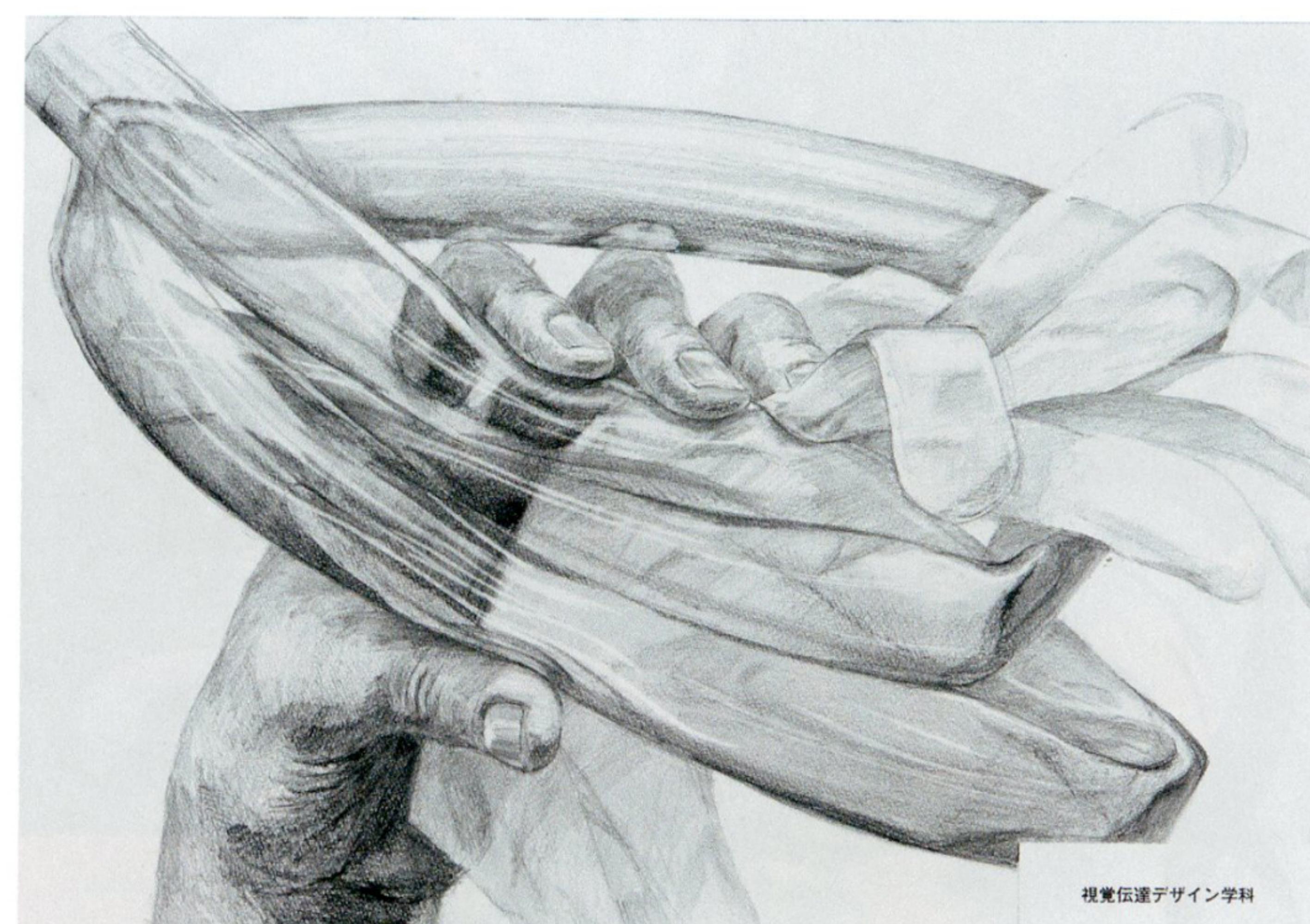
思い切りの良い届託のない表現から力強さを感じる。特に矩形の画面に「く」の字の形状の構成はインパクトがあり、目を惹いた。

**教員コメント**

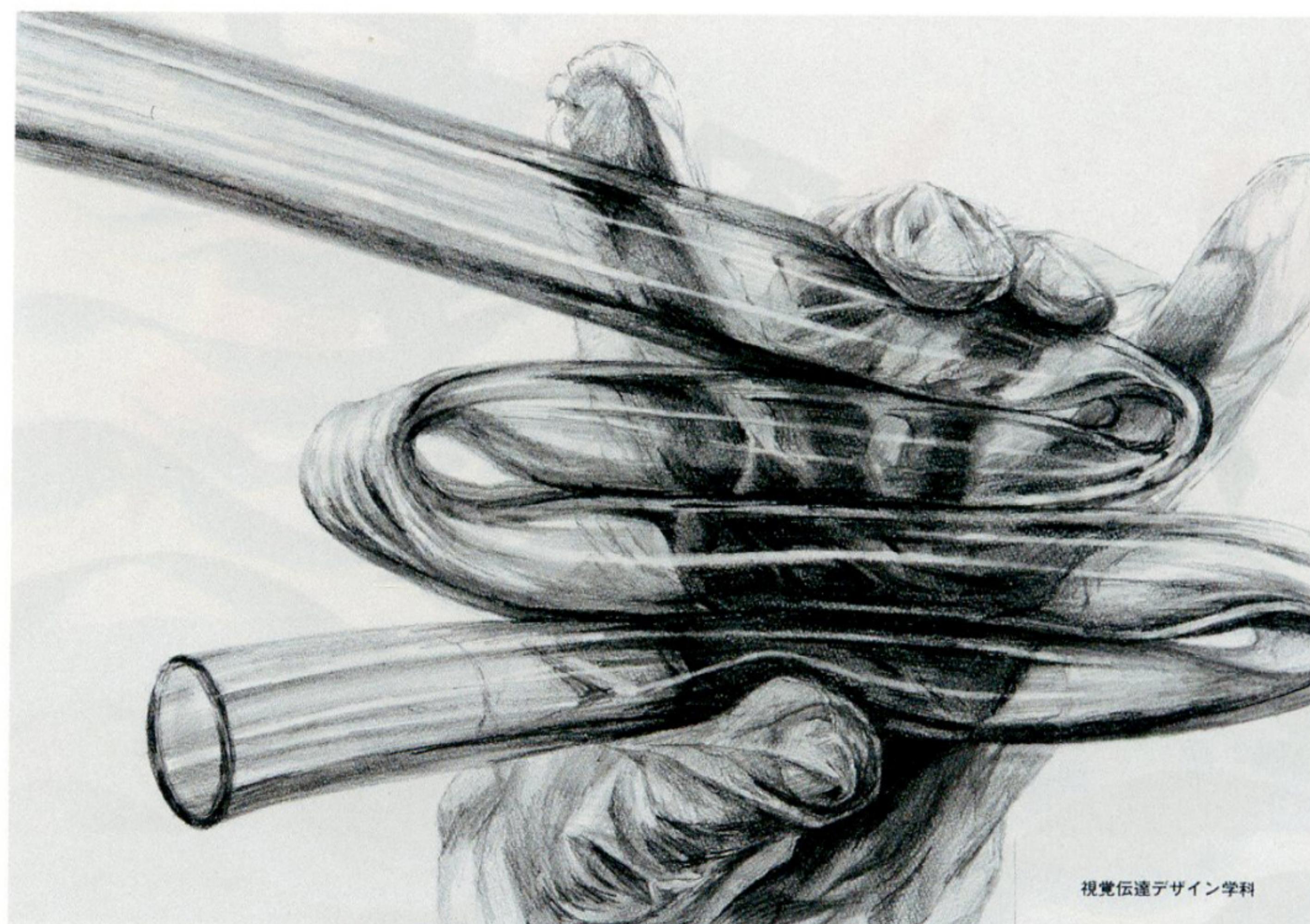
作者の独特的な感性による観察と描写は、習作的なデッサンを超え、絵画的であり評価に値する作品となっている。

**教員コメント**

この作品は手のひらと素材と指が生み出す空間が主役だ。握った手の力、チューブの柔らかさ、安定した持ち方がなぜかホッとする。

**教員コメント**

モチーフと手との関わりの中から空間を見出そうとしている。円弧的なホースの形態と手が織り成す空間構成が巧みである。

**教員コメント**

折り曲げたチューブを握る手の力が伝わってくる。丁寧な観察で、透明な素材の織りなす明暗の変化が魅力ある画面を作っている。

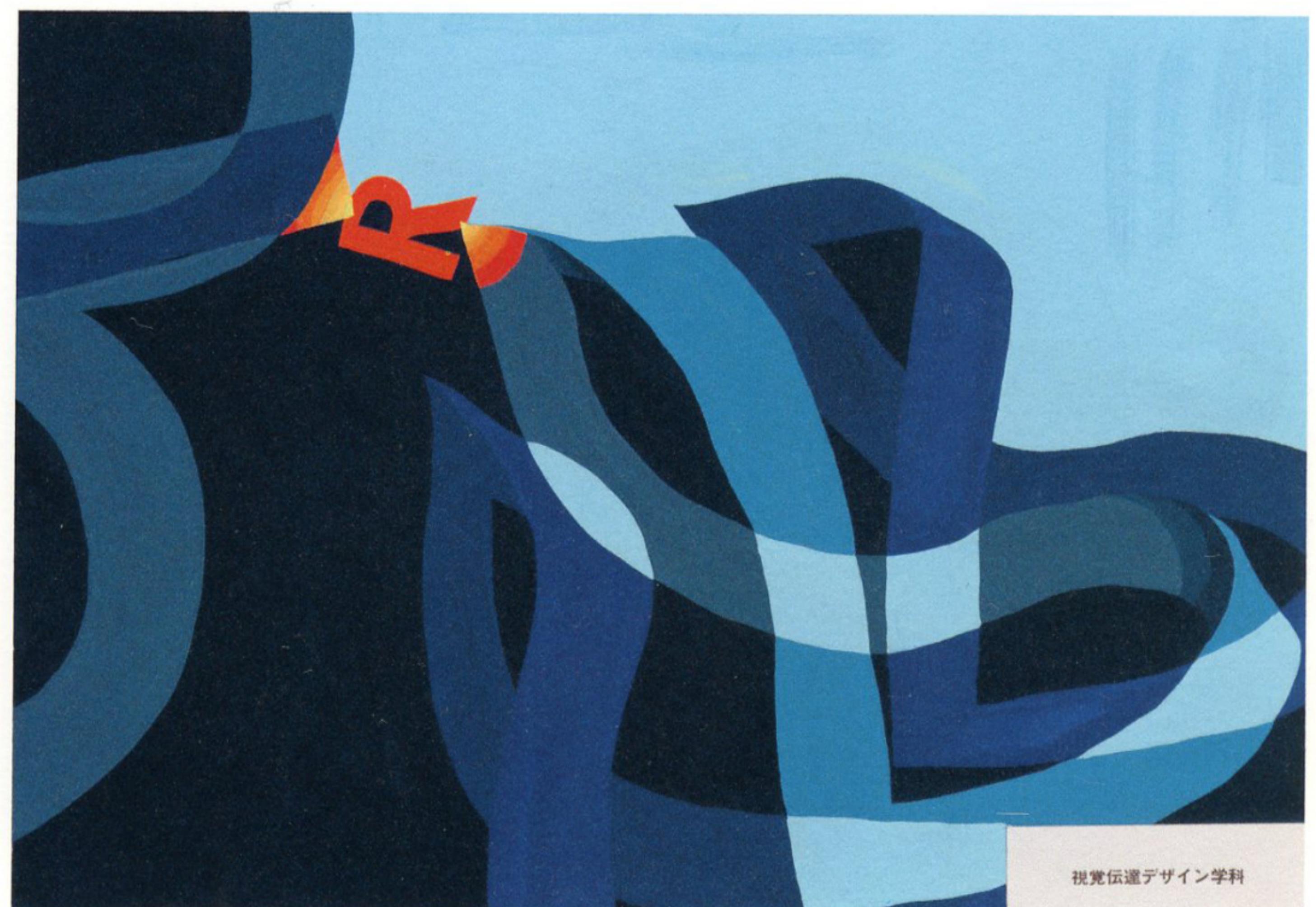
**教員コメント**

正直、どうやって描いたか不思議だ。折り曲げた透明なチューブがガラスコップの並列のように見え、独特な世界を作り出している。



教員コメント

餌を探す鶴であろうか。暗闇で躍動する脚の一部を、またその水流の陰を、B、I、R、Dをうまく活用して表現している。



教員コメント

親鳥が雛にえさをあたえている光景が微笑ましい。鳥の生態をとらえ、その瞬間のみに焦点をあてた事がうまく表現されている。



教員コメント

鳥の身体的特徴であるくちばしに着眼したユニークな作品である。与えられた素材の特徴を活かし立体的な表現力が高く評価された。



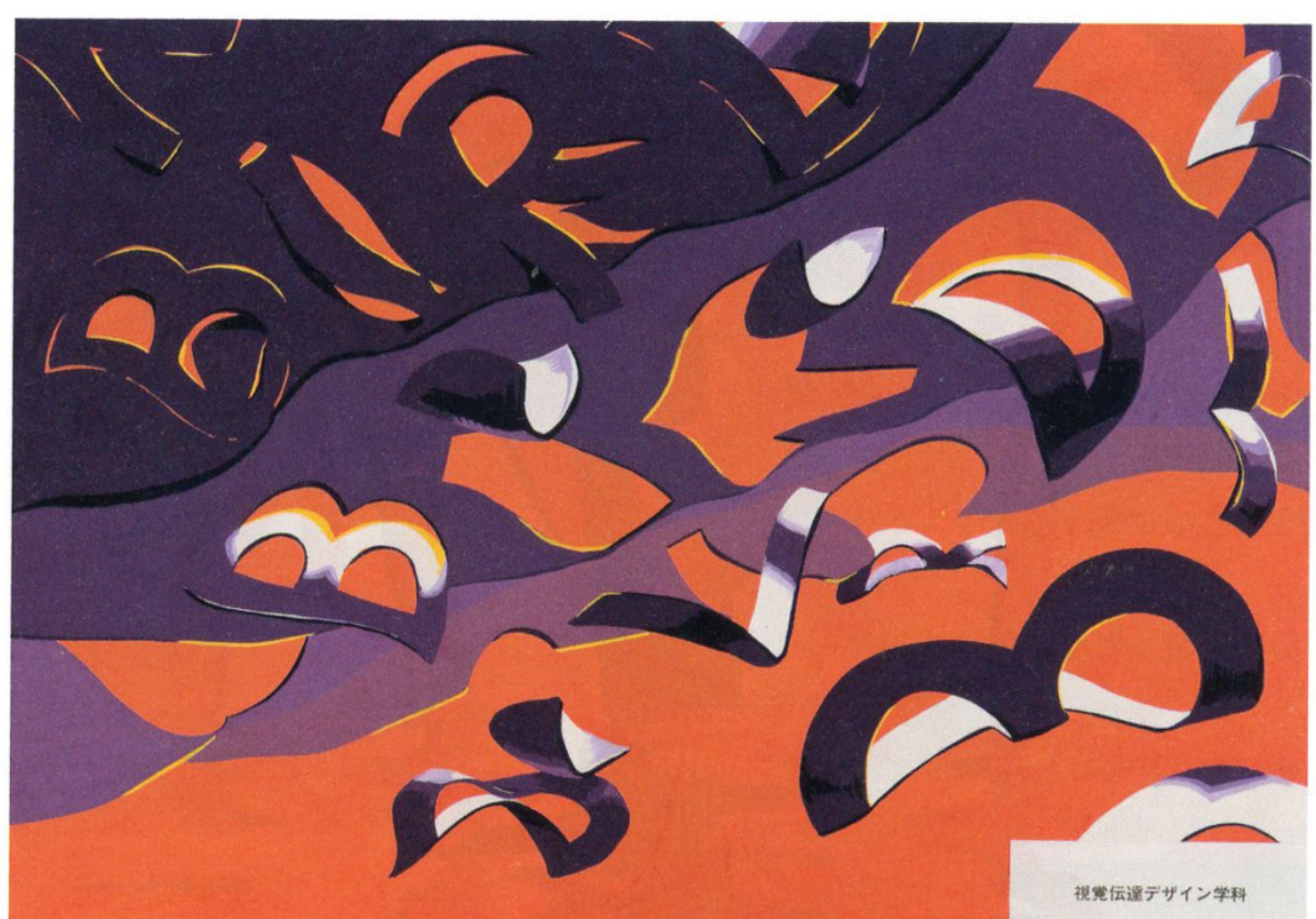
教員コメント

RとDを組み合わせた体を縮小して反復させた空間の奥行きと、波に崩れるDの表現が、水面で揺れ動く水鳥の群れを感じさせる。



教員コメント

強く文字を歪ませてつくった顔の表情、深く暗い色彩の中に燃えるような眼。猛禽類の鷲や鷹の鋭い眼光を強烈に印象づけている。



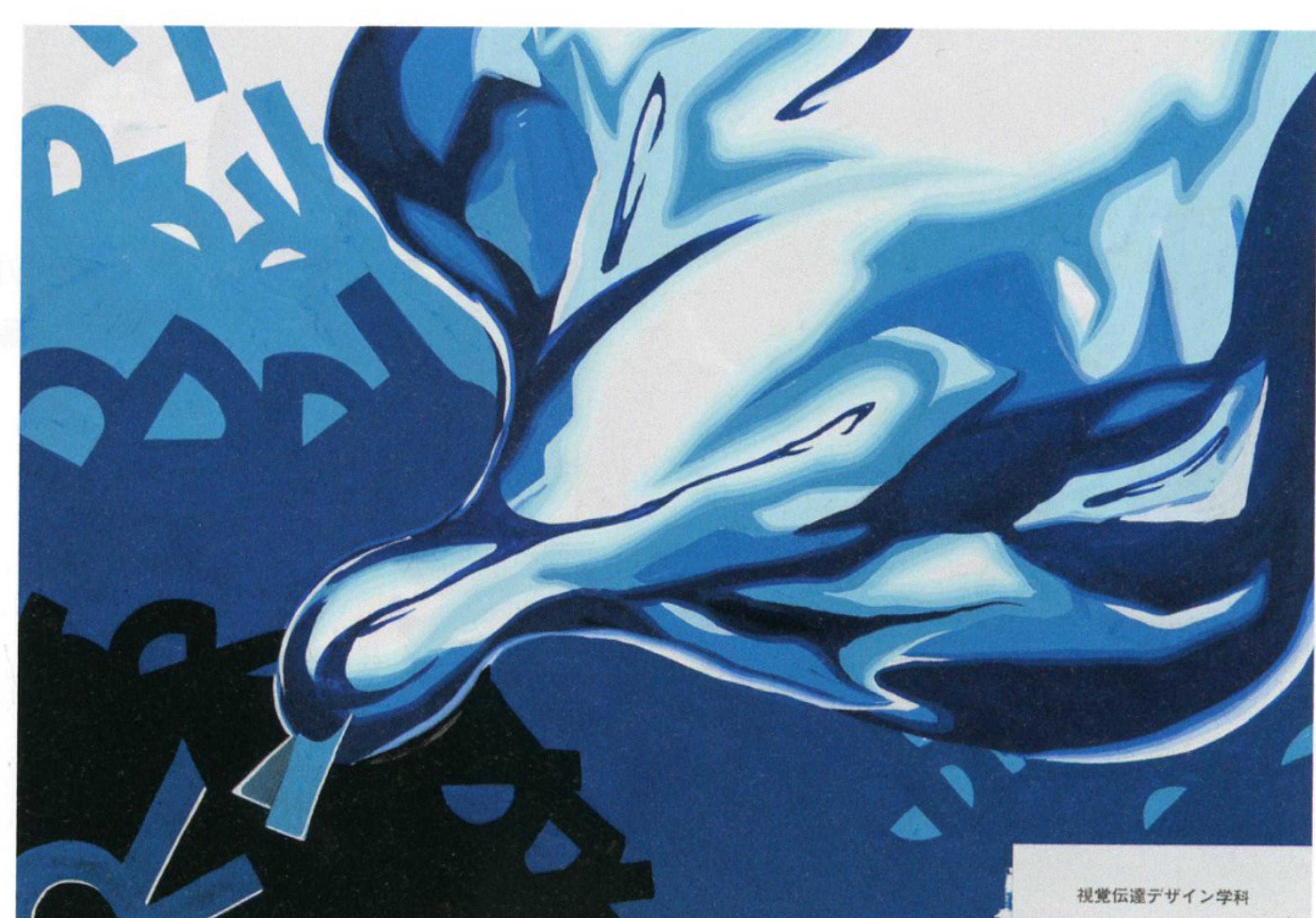
教員コメント

オレンジ色に染まった夕景に飛翔する鳥たちが想像される。色数を抑えながら、構成がダイナミックで空間と時間も表現されている。



教員コメント

ねじった文字の先端を嘴に、反対側を翼に見立てて、水中の獲物を狙って次々と急降下する鳥の様子をリズミカルに表現している。



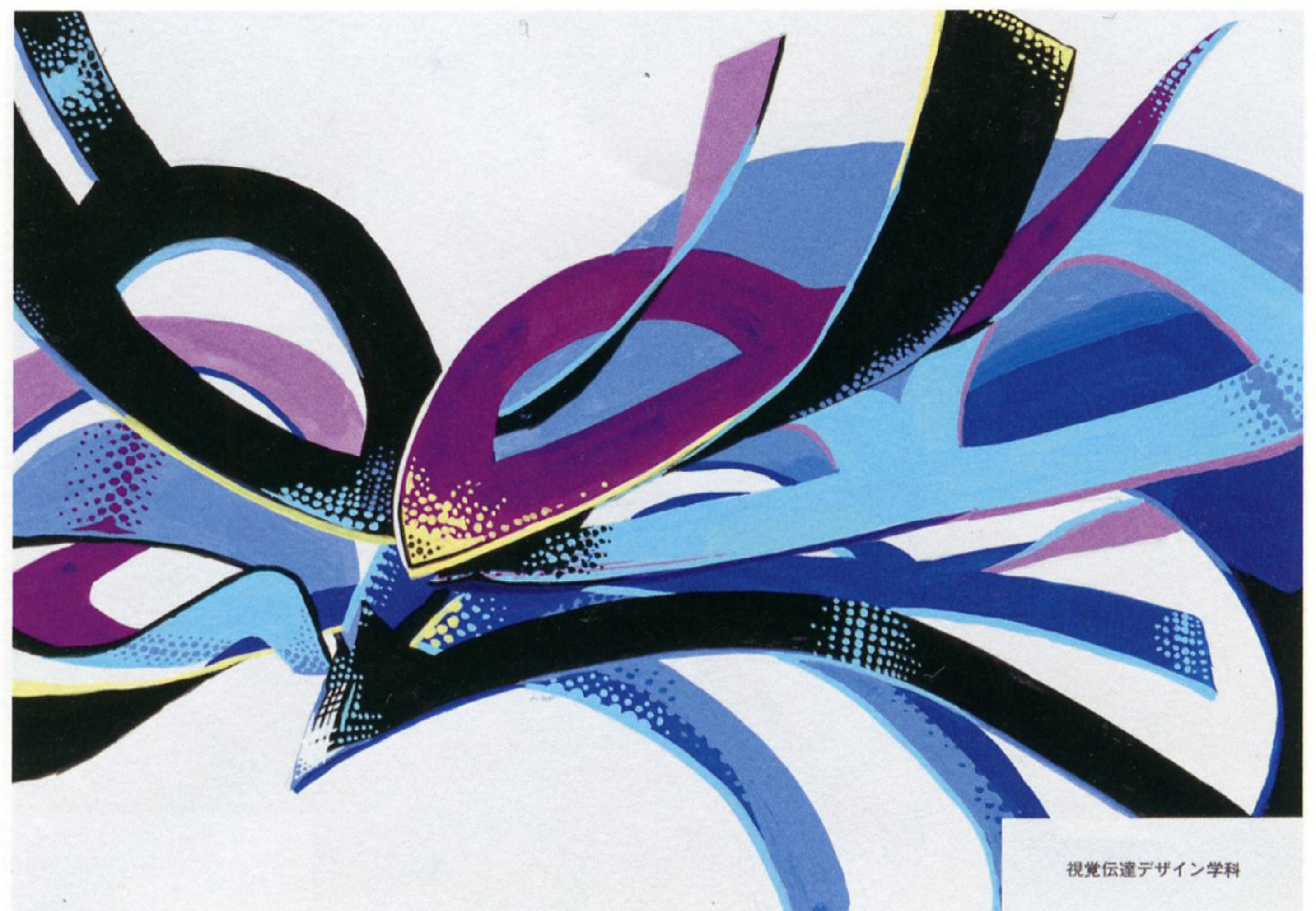
教員コメント

硬質な文字の形態と有機的な形態との対比が、水鳥の親子の情景を端的に現している。色調のみが水鳥である事を印象づけている。



教員コメント

浅瀬に集まるフラミンゴの群れを文字のフォルムで見立てている。文字を利用した立体的な動きが効果的で、その構成は奥行感をも現している。



教員コメント

鋭い鳥のくちばしと翼の羽ばたきの軌跡が、柔らかい素材からなるアルファベットの重なりとして描かれ、力強いフォルムを形成している。



教員コメント

大きく翼を広げた鳥が暗い紺色と白の強いコントラストを伴って大胆に描かれ、細かく散った羽根のようにも見えるアルファベットからは小鳥たちのざわめきも聞こえてくる。



教員コメント

ものすごい早さで羽ばたいている瞬間の状態を、4つの文字と色を巧みに使って見事に表現している。躍動感が伝わってくる。